



今月もいろいろあったが、まず、町会の役員さんをお願いすることが一番大きかったのではないかな。今年の総会は決行改定で、班長さんが各専門部長さんをやると決めた後の初の役員改選があったので、緊張していた。将来を見据えてそう決めたのだが、さしあたって、みんなそんなものはやりたくはないのだ。私だってそうだ。といっても、役員選定委員の方々と、副会長さんが「そんなの知らない」と言わずに、沢山心配してくれて、沢山の時間と労力を使って、毎日頭を悩ませ、話し、人とぶつかったり笑ったり、怒っ

たりしながらその度話し合っただけで決めた。実にありがたいことです。

そして思うのは、大切なのは「人の輪」「人の和」だなーということです。聖徳太子が作ったという日本で最初の法律のトップに「和をもって尊しとなす。」と明記されています。これは実に日本の穏やかな自然環境が育んだ言葉だなーと思います。「殺すな、犯すな、盗むな。」ではないのです。日本は、まだ「和をもって尊しとなす。」という社会の中にどっぴりと浸かっている、国の外から見ると、ただの生ぬるい平和バカ、天然ボケ、馴れ合い集団と見えるでしょうけれども、それが許される社会がどんなに幸せなのかと実感します。

あといろいろあったがまあいいや。ところで暖かくなってきたので、このところ千住新橋を渡る手前の横断歩道橋の脇で、寒い時は出ていなかったおばあちゃんが、またにこやかに座っているようになった。階段を降りきった脇に、椅子をおいて、黄色い帽子にあご紐をかけた、しっかりかぶった小さいおばあちゃんが、いつも通る子供たちや、凶悪な顔をしたママチャリ通勤者（私のことだけなど）などにニコニコと控えめに手を振っていて、つい、そっと会釈して通ることになる。朝、椅子の上で小さくなって背中を丸めてにこやかに手を振るおばあちゃんの前を通ると、気持ちがおだやかになる。毎日毎日その前を通り、毎日暖かい気持ちにさせてもらっている。それで、ふと思ったのだが、これは考えてみたら「道徳神」なんじゃないかな。都市ではもう見られなくても、ここに、生きている道徳神が静かに穏やかに座っていらっしゃる。良い味だなー。そう思うとその先の橋を渡って左の小道に入るとそっちには、毎日、真っ赤なシャツに真っ赤な帽子、黄色い交通安全のたすきがけで、大きな黄色い旗を振り回し、大きなダミ声で、通りかかる人や車の安全を気遣って話しかけ、教訓を叫んでいる髭ずらの男がなにやら凶悪気にばたばたしているが、あれは何だろう？ あれは荒ぶる神様の亜種でちょっと道徳神と異なる気がする。道徳神というのは「和をもって尊しとなす。」という社会の心の華のような気がする。今日もおばあちゃんはニコニコと手を振っていました。

ブログのアドレスです <http://blog.goo.ne.jp/gnomesjp/>

<http://www.interq.or.jp/japan/gnomes/gnomes1>

TEL/FAX 03 5600 0195 高村 哲 GnomesJpn@aol.com